

# 2015年全国通し行進者

東京—広島コース 5月6日～8月4日

初通し行進者

松永 洋子（まつなが ようこ）さん

（全日本年金者組合静岡県本部推薦・64歳）

年金者組合では静岡支部の組合員として活発に活動。

一人でも多くの方に平和の大切さを訴えたいと行進を希望。



富山—広島コース 6月4日～8月4日

初通し行進者

西田 重好（にしだ しげよし）さん

（滋賀県平和委員会・60歳）

用務員として勤務、この3月で大津市役所を定年退職。滋賀自治労連県執行委員、同・現業評議会事務局長など歴任、現在、滋賀原水協事務局員、平和委員会会員、京都ひまわり合唱団団員として活動。毎年、滋賀から京都の行進に参加。

「今年は戦後、被爆70年節目の年。20年前の戦後50年は自治

労連が中心となり東京→広島1500kmの反核マラソンが行われ、広島まで平和を訴えて走った。県内を毎年歩いていると定年退職すれば全国通し行進はずっと必然と思っていた。昨年、笠木透さんが亡くなられ最後のCDとなった「平和の暦」で♪生まれてから67年、戦争をせずに67年私たちの平和暦をつみ重ねてここまで来た♪と歌っておられた。この憲法9条が危ない時、多くの人とこの歌を歌いつなげるのが大切だと、最後の遺言だと思う。♪名もない人々ようたえうたえ♪うたの苦手な人々ようたえうたえ♪」



北海道—東京（日本海/青森・秋田・山形・新潟・長野・山梨）コース5月6日～7月23日

竹田 昭彦（たけだ あきひこ）さん

（平和を願い戦争に反対する戦没者遺族の会推薦・74歳）

2002年から毎年、全国通し行進者として参加。

ほとんどのコースを完歩。

「広島・長崎に原爆が落とされてから70年目になります。被爆者の平均年齢は80歳を越えようとしています。同じく軍属や空襲被害者の遺族も高齢化しています。戦没者の遺児として戦争の悲惨さを話し、日本がおこした侵略戦争の反省のうえにできた憲法9条を守り、日本が再び戦争する国にならないよ

う訴え、全ての戦争被害者の生きている内に核兵器を無くし、戦争のない世界を展望したいと思います」

